

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 こぼんはうすさくら広島府中第2教室

公表日 令和8年1月20日

配布数

19

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4		1	・広々としていて子供も過ごしやすくと感じます。	・机など活動によって物を別室に移動させてスペースをしっかりと使えるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1	・日頃の様子を見ていないのでよくわからない。	・配置基準は満たしていますが、今後配置を充実していけるよう考えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		2	・物などはわかりやすく配置されていると思います。 ・ごちゃごちゃして目移りしないようにきれいに収納されています。	・ロッカーなどの配置を工夫して活動のスペースを分けたり、物が見えないよう道具を入れる箱を統一し、刺激を減らすようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1				・毎日、清掃や消毒等行い、衛生的な環境を心がけています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			・子どものことはよく理解してくださっていると思います。 ・子どもの特性を理解して対応してもらっています。	・職員間で情報の共有を行いながら個々に寄り添った支援を行っていきたいと思います。 ・職員の研修を行い、支援の質の向上を目指していきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1				・支援プログラムはこぼんはうすのホームページに掲載されています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1				・アセスメントやモニタリングを行いながら、児童1人1人に合わせた個別支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		1		・アセスメントを行い、利用児童に合わせた具体的な支援内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				・今後も、放課後等デイサービス計画に基づいた支援を行っていきたいと思います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1	・以前よりも活動の内容が増えたように思います。	・集団活動では、KOOVの他公園等野外活動や制作活動、運動遊び、ソーシャルスキルトレーニングや生活スキルトレーニングなどいろいろな活動を取り入れています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	1	6	・他のクラブと交流したことは子供から聞いたことはありません。 ・たまに、地域のイベントに参加させてもらっているが交流があるかはわからない。	・公園等の野外活動や休日利用日に地域のイベントに参加した際に、地域の子どもたちとかわる機会を設けています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					・理解しやすいような説明を心がけておりますが、何かご不明点がございましたら気兼ねなくお申し付けください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				支援内容は適切かつ、丁寧な説明があります。	・わかりやすいように確認も行いながらご説明していきたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3		1	研修会などはないと思いますが、個人的に相談すればお答えいただけます。	・今後、イベント等家族同士で関われる機会を設けていきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2			・HAGで体調やその日の様子を詳しく教えていただいています。 ・送迎時等に子どもの様子を教えてもらったり、相談などができて共有できていると思います。	・今後も送迎時やHAGにてお子様の様子を伝えていきたいと思います。 ・相談や気になることなどございましたらお気軽にご連絡ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2			・面談で日ごろの様子やいいところ、よいところなどしっかりと教えていただき、今後の目標なども提案していただけます。	・半年に1回以上モニタリングを兼ねて面談を行っております。今後も面談の際は情報が共有しやすいような説明を心がけていきたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				・ご利用者様の意向に寄り添いながらサポートさせていただきたいと思います。
	18	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	1	2	秋のお祭り、クリスマス会などで知っている保護者の方とお話する機会はありますが、ほかの方との交流はないです。	秋(夏)祭りやクリスマス会等で保護者同士の交流や、ご兄弟も参加できるイベントを企画しています。今後は家族等で参加できる研修会などの開催を検討したいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1				・相談等ございましたらご連絡なくご連絡ください。その際は速やかに面談の機会を設けたいと思います。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			1		・理解しやすいようお伝えするよう心がけておりますが、質問等ございましたらいつでもお尋ねください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		1		・HAGやホームページの必要な情報を更新していきますので、ご確認のほどよろしくお願い致します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1		・個人情報は鍵付きの書庫に保管する等十分に気を付けて管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1				・マニュアルは事業所玄関にありますので、来所された際に確認して頂けたらと思います。 ・訓練は行った際にHAGにて訓練報告をさせていただいておりますので、ご確認をお願いします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3		1	定期的に訓練されていると思います。	・安全計画に基づき、訓練を実施しています。行った訓練に関してはHAGにて報告を行っておりますので、ご確認をお願いします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2		1		・安全計画は事業所玄関にありますので、来所された際にご確認ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		3	・都度、連絡や状況の説明をしています。	・今後も事故などが起こった際には、状況についてご報告させていただきます。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	2				・今後も子ども達が安心して通える環境作りに努めていきたいと思っています。
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3			・いつも楽しみにしていて、仲の良いお友達の話をたくさんしてくれるようになりました。 ・家に帰ってから、今日したことを毎回教えてくれるようになりました。 ・こぼんでの活動やお出かけなど、とても楽しみにしています。	・今後も、子ども達が楽しみに通える様な環境づくりや活動を取り入れていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			・日々の活動、イベント、お出かけもありいろんなことを学ばせて頂いてます。 ・活動内容に対する「ねらい」も毎回書いてくださってありがたいです。 ・満足しています。	・今後も、職員一同で創意工夫しながら、楽しく通える居場所づくりに努めていきたいと思っています。また、研修等を行いながら、支援内容の充実を目指していきたいと思っています。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年1月20日				
こぼんはうさくら広島府中第2教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ロッカー配置を工夫しながらスペースを確保していくようにしている。 活動ごとに机の配置を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		送迎ができる職員が少なく、負担が集中する傾向にある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		色分けなどを行いながら視覚支援を行っている。	利用児童が玄関まで自由に移動できるので、移動できないように工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っている。 空気清浄機や加湿器で環境整備を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて相談室を利用し、切り替えをできるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	業務終了前に振り返りの時間を持っている。	パート職員が振り返りの時間を設けることができていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		今回初回の保護者向け評価表になるので、今後業務改善にいかしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		職員の意見を聞くことはできているが、業務改善まで行えていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第3者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修やジョブメドレーで研修を行えるようにしている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、公表している。	支援プログラムの修正を行っていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		現場の職員と十分に支援方法などについて話し合う時間を持っていない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		計画に沿った支援より、その日の状況に応じて支援内容を変更してしまうことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化したアセスメントを行いながら、日々の様子などを記録して子どもの状況を把握できるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもに合わせた計画をガイドラインに沿って作成している。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム担当が案を作成し、他の職員の意見を聞き、本案にしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日ごとに活動プログラムを循環するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動を入れながら、集団活動を楽しめる土台を作れるように支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ホワイトボードを使いながら、役割分担などを確認しやすいようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		振り返りに時間を設けるように業務改善を行っている途中。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		HUGで記録を記入し、確認しやすいようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを行いながら支援計画を作成するようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		基本活動を組み合わせながら、子どもたちが飽きないように支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で、子供たちでルールなど話し合う時間を作っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や現場職員が参加できるように調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		関係性を構築できる準備をしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の送迎時に担任の先生と情報共有を行うようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		必要に応じて共有できる体制を作っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		必要に応じて共有できる体制を作っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	研修に参加する機会は設けられている。	助言などをもらえる関係性は作れていないので、今後どのように関係性を作っていくか検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	公園で関わりをもつ時間は作れている。	交流を行うことはできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGや送迎時に保護者と子どもの状況を確認する時間を作っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援は行っていないが、今後検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者と子どもから聞き取りを行うようにしている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画ごとに説明し、同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		HUGや送迎時などで話を聞き、必要に応じて面談を行うようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		夏まつりやクリスマス会などで保護者や兄弟児が関われる時間を作っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		マニュアルに従い、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月間予定表を毎月保護者に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫などで適切に管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者や子どもにわかりやすい言葉で伝えながら専門用語をできるだけ使わないようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏まつりなどで地域の方が参加できるようにしている。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、運用できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、計画に沿った訓練を行うようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際に確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		医師の指示所が必要な児童がいないが、今後必要に応じて対応方法など検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成はしている。	作成しているが、十分に周知や研修・訓練が予定通りに行えていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画は作成しているが、保護者への周知が十分に行えていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは業務日報に記載するようにしている。	対応について話し合う時間が持てていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		ジョブメドレーで研修を行えるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会で身体拘束をいつ行いか等話し合いをおこなうようにしている。	